令和7年9月定例会

次

請願番号	件名	
2 4	腎臓病患者の医療と生活の改善に関する件	
2 5	家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止を求める件	

腎臓病患者の医療と生活の改善に関する件

要旨

府内の23,559人(2023年12月末現在)の透析患者は、医療技術の進歩や 各種施策により、比較的安定した透析治療を受けており、多くの透析患者が社会復帰を 果たしています。

しかし、患者の高齢化や長期透析患者の増加により、合併症や重複障がい等で透析施設に通院することが困難な患者が増加しています。一方で、これらの患者を受け入れる透析施設を併設または隣接する高齢者福祉施設はほとんどありません。また、透析患者は高齢者や年金暮らしの者が多く、家計は非常に厳しく、各施策の見直しによりこれ以上の自己負担を求められると生活していくことができません。

近年、台風や豪雨などによる災害が全国各地で多発していますが、いかなる状況下であっても、透析患者は透析を受けるための通院が必要です。また、透析患者には食事制限があり、管理を誤ると命に関わる事態にもなります。

さらに、臓器移植法が施行されましたが、脳死への関心の高まりとは反対に、心停止 後の腎臓提供が少なくなり、多くの患者が移植を待っています。

ついては、患者が安心して充実した日々を送れるよう、腎臓病対策の総合的かつ有機的な取組み、腎疾患総合対策の早期確立を求めて、下記のとおり請願します。

記

- 1 透析患者の経済的負担がこれ以上増えないよう、重度障がい者(児)医療費助成制度を継続すること。
- 2 透析患者が安心して透析が受けられるよう、必要な対策を実施すること。
 - (1) 重複障がいにより歩行困難な65歳未満の透析患者の通院について、障がい者総合支援制度が容易に活用できるよう、制度の充実を各市町村に助言すること。
 - (2) 重複障がいにより歩行困難な65歳未満の透析患者の通院について、府として通院送迎のための施策を検討すること。
 - (3) 大規模災害が発生した場合、透析患者が安心して治療が受けられるよう、体制を整備すること。
 - (4) 合併症による重複障がい等により、透析患者が通院困難となった場合でも治療が受けられるよう、環境を充実すること。

- (5) 新たな感染症の発生・蔓延に備え、透析患者が感染症に罹患した場合、医療機関で安心して治療が受けられるよう、府として体制を整備すること。
- 3 府内の医療機関において、臓器移植が一例でも多く行われるよう、府としてより効果的かつ具体的な対策を講じること。

請願者 大阪市淀川区西中島6丁目2-3 チサンマンション第7新大阪617号 特定非営利活動法人 大阪腎臓病患者協議会 木 村 繁 ほか 9,566人

紹介議員角谷庄一前田洋輔藤村昌隆中野剛しかた松男中井もとき野々上愛石川たえ

受理年月日 令和7年9月25日

家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止を求める件

要旨

所得税法第56条では、事業主の配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しないとして、家族従事者の働き分を経費として認めないことを規定しています。

白色申告の場合、事業主の所得から、配偶者が年間86万円、家族が同50万円を控除されるのみで、時給に換算すると最低賃金にも及びません。このため、自営業者の配偶者や家族は、社会的にも経済的にも自立しにくく、社会保障や行政手続きなどで不利益を受けています。また、後継者育成の面でも大きな妨げとなっています。

所得税法第57条では、青色申告の場合、給料を経費に算入できると規定していますが、税務署長に届け出て、認められなければなりません。働いている実態があり、商売に応じた記帳を行っているにも関わらず、申告の仕方によって、納税者を差別しているのが実情です。

明治時代の家父長制的世帯課税を引き継ぐ第56条は、日本のジェンダー差別の根幹に関わる問題でもあります。人権問題として、差別的税制をこれ以上放置せず、家族従事者の労働の社会的評価、働き分が正当に認められるよう、第56条を廃止するべきです。

いま、570を超える自治体が第56条の廃止を求める意見書を国に提出しています。 男女平等を求める国内外の女性運動と共同で、国連女性差別撤廃委員会が所得税法の見 直しを政府に勧告し、また、日本弁護士連合会や税理士団体からも意見書が出されるな ど、世論の声と運動が広がっています。差別的税制をこれ以上放置せず、所得税法第 56条が早急に廃止されるよう、下記のとおり請願します。

記

○ 所得税法第56条を廃止するよう国に働きかけること

請願者大阪市中央区玉造2-28-4大商連婦人部協議会伊礼 綾子 ほか 10,242人

紹介議員 石川たえ

受理年月日 令和7年9月26日